町民体育大会

第五ブロックが優勝

第八回町民体育大会は七月二十二日、小学校鼓笛隊のブラスバンドも華やかに開幕、折柄の炎天にもめげず、各ブロック対抗の熱戦を展開した。

当日の圧巻は何といっても婦人会総出演の踊りで、会場には一時花がさいたような明るい雰囲気を催した。各種目の点数を綜合するとブロック別の成績は次のとおり、

第一位　第五ブロック（本町、古川、両国）一九三点
第二位　第四ブロック（上町）一八三点
第三位　第八ブロック（鳥喰全区）一七八、五点
第四位　第六ブロック（東町）一五七点
第五位　第七ブロック（栗山）一四三、五点
第六位　第二ブロック（長倉蛯山、遠山、取立）一三六点
第七位　第一ブロック（木戸台、町原、小堤、坂田四部落）一〇八点
第八位　第十ブロック（新一島）一〇四点
第九位　第九ブロック（北清水）八四点
第十位　第十一ブロック（屋形）六七点
第十一位　第三ブロック（中台、牛熊、谷台）四八点

写真（上）つな引き（下）婦人会球入れ

易談議

「火風地天の卦、これは順風に帆を揚げた大舟の如く、まづ〳〵有卦に入っていると言える。しかしだ、此の順風に一つの影が有る。それは貴方の仕事の運だ。これが他の運勢に負けている。これを開運しなければ折角の盛運も取逃してしまう。若し貴方が盛運を求めるならば幕の中の大先生に教えを乞う事じゃ。これからの人生は多難極りない。例えば、国民全部に年金が渡る制度が出来たといい乍ら、まだ〳〵一〇〇円、一五〇円の保険料を惜しみ、明日の我が身に及ぼす保障を失う譬の有る悲しさじゃ。「人生到処に青山あり」と思うなかれ、その青山にも先達は必要ぢゃ、即ちその先達は幕内の大先生見料は五〇〇円……決心は大事だ……躊躇は明日を誤る……」酒の気嫌で立ちよった易断所、ふと二十五年前のT先生を思い出したK君である。

当時師範学校を卒業してすぐ赴任して来たT先生は「人生到所に青山ありじゃ。人間に太陽と米はついてまわる。怠ける奴はそれに気付かないだけだ」と良く訓えられたが、此の易者先生の面影と〃人生童と教師というもの以上の近親感を湧き立たせた。

「先生……どこかで御飯でも呼ばせて下さいませんか」

「そうだね……」

尚幕に引き込もうと努力をしていた易者先生はびっくりして天眼鏡を握りしめた。

「いかにもTじゃが、N小学校に居った、で貴方は……」

「やっぱりそうでしたか、始めて受持っていただいた五年生のKです」

「N小学校は私が始めて勤めた学校だから大てい気憶に有ると思うが……K君、K君ああ……副級長をやったことがあるね……」

「ええそんなこともやりました、思い出してくれましたか」

奇遇を喜ぶ二人は故郷を遠く離れた此の土地に、昔の児の歴史を感じさせるものがある。

……

……

さて、此々は大衆食堂の一室T先生の希望で特に選んだ場所である。

「しかしよく私をTと分ってくれたね」

「人間到る処青山ありの訓えがあの当時そっくりでした」

「いや、どうも〳〵……私に青山は少し登り憚かったよ。……だがK君、やっぱり米と太陽はついて廻ってくれたよ。いや、政府の政策にもそれが現れて来たよ。そも〳〵易というものは単なる推察では無いんだよ。何年か、或いは何千年か先輩が培い来った記録と統計によって得た公約数が即ち卦となった訳だ。これは直ちに政府の施策に通じる訳だ。私の言った陽の黒衣をまとい、輪袈裟の様なものをかけた奥さんの大先生と昔の裁判官の法衣の様な出立のT先生には何か二十五年葉に甘えるか？　なあお前」

つかれ切ったツーピースに

「先生……はっきりしましょうか……」

「いや〳〵これは内しょだがね、大先生はわしの家内じゃよ、いやどうも恥かしい限りだが……」

何と大先生はT先生の奥さんだったのである。

「そうですか、じゃあいかがです御一緒に……」

「それでは余り……いや御言葉に甘えるか？　なあお前」

「先生……どこかで御飯でも呼ばせて下さいませんか」

「そうだね……」

「大先生に私からもお願いしましょうか……」

「いや〳〵これは内しょだがね、大先生はわしの家内じゃよ、いやどうも恥かしい限りだが……」

何と大先生はT先生の奥さんだったのである。

「そうですか、じゃあいかがです御一緒に……」

「それでは余り……いや御言葉に甘えるか？　なあお前」

つかれ切ったツーピースに黒衣をまとい、輪袈裟の様なものをかけた奥さんの大先生と昔の裁判官の法衣の様な出立のT先生には何か二十五年葉に甘えるか？　なあお前」

つかれ切ったツーピースに黒衣をまとい、輪袈裟の様なものをかけた奥さんの大先生と昔の裁判官の法衣の様な出立のT先生には何か二十五年葉に甘えるか？　なあお前」

つかれ切ったツーピースに黒衣をまとい、輪袈裟の様なものをかけた奥さんの大先生と昔の裁判官の法衣の様な出立のT先生には何か二十五年

足発会会横芝町観光協

観光資源の開発をめざす

かねてから設立準備委員により準備中であった観光協会は、七月二十日創立総会を終り、めでたく発足した。会長には議会議長川島義雄氏が就任、役員の陣容も整ったので、これから積極的に本町の観光開発に乗り出す。

最近は地方自治体も産業振興については非常に熱心で、観光資源の活用も最近では町村の重要な事業の一つになってきている。坂田池、栗山川、屋形海岸等控えて観光協会の活躍が期待される。

創立総会で選任された役員は次のとおり。

顧問　伊藤　績夫
〃　吉岡　豊
会長　川島　義雄
副会長　伊藤　右仲
〃　渡辺　勲夫
〃　早川　幸三
理事（常任）斎藤　元一
〃　伊東　巌
〃　〃　〃　